

那賀川中学校 人権だより

No.4 2024年7月19日 那賀川中学校



学年・校内人権意見発表会

6月に一人ひとりが人権意見作文を書き、様々な人権について考えてきました。そして、学年人権意見発表会では、同じ学年の学級代表が作文を読んで人権意見発表を行いました。また、7月12日には、各学年の代表者による校内人権意見発表会が行われました。生徒たちにとって、今まで知らなかったことを知るきっかけになったり、共感したり、また今までの自分のことを振り返ったりと、それぞれ充実した時間にすることができました。そして、これからの生き方を考えることができました。意見を発表してくれた人と題名は次の通りです。

1年	立石 佑葵乃	さん	『いじりといじめのちがって?』
1年	藤田 隼人	さん	『知ってよかったスマホの怖さ』
2年	松本 咲良	さん	『インターネットを利用する一人の人間として』
2年	吉岡 陽菜乃	さん	『自分らしく』
3年	佐々木 一華	さん	『個性あふれる社会に』
3年	小西 海里	さん	『過去の自分との決別』



<生徒の感想より>

誰に対しても思いやりを持って接することを大切に、そして一人ひとりの個性を大切にしたいと思った。

スマートフォンは便利な反面、凶器にもなり、命を奪う物にもなる。相手の立場に立って考え、うまく使っていきたい。

普段何気なくしているいじめもいじめになり得ると考えると怖いと思った。親しくしていても自分の言葉に責任を持って発言したい。

たった一言でも、それが集まると大きな力になる。この力が間違った方向に使われるのはとても恐ろしいと感じた。日頃から気をつけて生活したい。

過去の自分と向き合う姿がすごいと思った。悪いことをしてしまうと自分だと逃げたくなくなってしまった。自分と向き合うことが大切だと感じた。

女性だから、男性だからという言葉に縛られず、個性を互いに認め合い、ありのままの自分でいられる多様な社会にしていかなければと思った。

人の気持ちを考えて行動すること、自分の気持ちも大切にすることを学んだ。

いじめは絶対許してはいけない。互いを尊重し合える関係を周りの人たちとつくりたい。

誰もが幸せに生きる権利を持っています。それを達成するために私たちにできることを真剣に考えたいですね。さて、いよいよ夏休みが始まります。計画的に課題に取り組んでいきましょう。時間がかかることを後回しにするのではなく、自分を律し、何事にも前向きに取り組めるとステキですね。充実した夏休みになりますように☆

